

2024年11月18日

各位

会社名 ティアンドエスグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 武川 義浩
(コード番号:4055 東証グロース市場)

JAXA 宇宙探査イノベーションハブ 第12回研究提案募集(RFP)に採択内定

～宇宙探査イノベーションに挑む～

当社完全子会社のティアンドエス株式会社 先進技術事業本部(取締役事業本部長 小林 林広)は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙探査イノベーションハブにおける、第12回研究提案募集(以下、RFP12)に応募し、その採択が内定いたしましたのでお知らせいたします。

1. 研究課題について

JAXA 宇宙探査イノベーションハブでは、2024年度より国際宇宙探査シナリオに基づく月面/火星探査を段階的に実現するためのシステム/要素技術に関して、研究課題を設定して共同研究を実施するという新しい研究制度「Moon to Mars Innovation」が行われています。

RFP12では、システム型課題として2テーマ、ゲームチェンジ型課題として4テーマが設定されましたが、ティアンドエスではゲームチェンジ型課題の「【次世代モビリティ領域】月面/火星探査ローバーや深宇宙探査機での高精度・低消費電力・リアルタイムな自己位置推定技術」を選択し、応募しました。

研究提案では、ティアンドエスがこれまでに培ってきたエッジAI分野での画像認識技術とプログラム実装/最適化技術を組み合わせた共同研究案を作成し、設定課題に対する提案を行っています。

RFP12の結果詳細については、JAXA 宇宙探査イノベーションハブホームページ「第12回研究提案募集(RFP)結果について」をご参照ください。

https://www.ihub-tansa.jaxa.jp/topics/RFP_announcement12.html

2. 当社グループの取り組み

当社グループは、あらゆる産業において、ソフトウェア技術が生み出す新たな付加価値を通じて、お客様に安心と満足そして豊かさを提供すると共に、高度ソフトウェア技術力によりお客様の課題を解決し、お客様のソフトウェア開発を支援しており、とりわけ重電、半導体、AI等の領域のソフトウェア開発に注力してまいりました。

AIをはじめとする最先端の画像認識技術や低消費電力環境下でのプログラム実装/最適化技術に関しては、従来から大学との共同研究や大手メーカーへの開発支援などを通じて積極的に取り組んでまいりました。今般、当社が持つエッジAI技術がJAXA宇宙探査イノベーションハブの進める月面/火星探査ローバーや深宇宙探査機での高精度・低消費電力・リアルタイムな自己位置推定技術の研究開発に有効であるとの仮説を立て、当社単独での研究提案に挑戦しました。

3. 今後の見通し

今回の採択内定を受け、当該研究提案について JAXA と共同で 2 年間の実施計画を作成し、契約を締結した後に共同研究を開始する予定です。

当社としては、今回の共同研究を通じてエッジ AI 技術力のさらなる向上だけでなく、将来的に宇宙適用を睨んだ研究開発に対しても積極的に取り組んでいく予定です。

本共同研究が当期業績に与える影響は軽微ですが、当社グループの更なるイノベーションを通じ、今後の事業範囲の拡大、及び企業価値の向上に資するものと考えております。

なお、2024 年 10 月 30 日付の「子会社設立に関するお知らせ」に記載のとおり、ティアンドエス先進技術事業本部の事業は、2025 年中に新会社であるイントフォー株式会社に移管することを予定しておりますが、移管に伴う連結業績に与える影響はございません。

ティアンドエス(株)先進技術事業本部とは

先進技術事業本部では、AI(機械学習/ディープラーニング)・画像認識・ソフトウェア最適化等の高度技術を駆使して、ソフトウェアの高機能化及び品質向上を実現するサービスや、最新AIプロセッサの性能を最大限に活かした AI ソリューションサービスを提供しております。

以上